

# 1. 本校のキャリア教育の基本的な考え

- ・一人一人の児童生徒が、自分の能力や特性に応じて、将来においてよりよい社会生活を送るために必要な知識、技能、態度、意欲の習得を目指す。
- ・単に「働くこと」を目的にするのではない。児童生徒が集団の一員として、役割や責任を果たそうとしたり、自分の能力を生かしたりして積極的に活動や仕事をする意欲や態度を育てる。

学校生活のねらい		小学部	中学部	高等部
社会生活に向けて	生活習慣	・ 基本的な生活習慣の確立を図る。	・ 基本的な生活習慣の定着を図る。	・ 社会生活に必要な力（健康管理、生活リズム、日常生活動作、身だしなみなど）を身に付ける。
	コミュニケーション 集団参加	・ 人や物とかかわる力を身に付ける。 ・ 自分を表現する力を身に付ける。	・ 他者と協力する力を身に付ける。	・ 場に応じたコミュニケーションをする力を身に付ける。
	自主性	・ 主体的に物事に取り組む力を身に付ける。	・ 主体性、問題解決能力を身に付ける。	・ 自己決定力、自己選択力、問題解決能力を身に付ける。
	自己理解	・ 自分の好きなもの、好きなことに関心をもつ。	・ 自分の良いところや得意なこと、苦手なことを知る。	・ 自己理解を深め、自分の生き方について考える力を養う。
	役割 働くこと	・ 自分の役割を意識し、最後まで取り組む力を身に付ける。	・ 働くことを体験し、働くことへの意識を高める。	・ 働く経験を通して、働くことの意味や意義について考え意識を高める。
進路決定に向けて	進路先の理解	・ 身近な仕事について知り、将来の夢をもつ。 ・ 中学部の見学をとおして、中学部での生活に見通しをもつ。	・ 社会見学や施設見学を通して、社会への関心をもつ。 ・ 高等部見学や職場体験をし、卒業後の生活に関心をもつ。	・ 実習体験（現場・校内）を行い、卒業後の進路や生活について具体的に考える。

保護者の役割	家庭の支援	・ 基本的な生活習慣を身に付ける。 ・ 社会のルールやマナーを身に付ける。	・ お手伝い等の役割を設ける。	・ 楽しめることをつくる、増やす。
	学校との連携	・ 進路についての相談、要望、質問などをする。		
	情報収集	・ 地域別福祉懇談会（地区 PTA）、高等部校内実習見学会、進路懇談会、高等部現場実習報告会、事業所説明会、高等部進路相談会に参加し情報を集める。		
	事業所の理解	・ 福祉事業所の見学や利用を通して、将来の進路を具体的にイメージする。		

